

2006年原水爆禁止国民平和大行進実施要綱

2006年4月 2006年原水爆禁止国民平和大行進中央実行委員会

1、核兵器のない平和で公正な世界へー連帯と共同ひろげる平和行進に

ことしの国民平和大行進は、NPT再検討会議と被爆60年を経て、核兵器廃絶の流れをさらに発展させ現実のプロセスに結実させようと、6月の世界平和フォーラムをはじめ、今秋の国連総会に向けてさまざまな行動が探求され、新しい国際署名運動が開始された中でとりくまれます。

来年50回を迎える国民平和大行進は、原水爆禁止の声で全国の草の根をつなぎ、だれでも参加できる行動として、こんにち7割ちかくの市区町村を網羅し、毎年10万人が参加する草の根行動に発展しています。

2006年国民平和大行進は、この伝統と特質を発揮して、さらに広範な住民や若者などの参加、自治体との協力の拡大、他の平和行進、市民団体との協力・共同の前進、全国すべての市区町村をつなぐ行進の実現など、新たな飛躍をめざします。

核兵器のない平和で公正な世界への転換をめざす世界の運動と連帯し、「すみやかな核兵器の廃絶のために」署名など行動をひろげ、従来の枠を大きくこえた広範な人びとの参加や共同をひろげましょう。

2、日程・コース (別紙参照)

①5月6日(土)東京・夢の島を皮切りに出発する。終結日は、東京=7月26日(水)、広島=8月4日(金)

コースは、これまでと同じ全国11幹線コースで実施。北海道→東京(4コース)、東京→広島、富山→広島、和歌山→広島、四国→広島、長崎→広島、宮崎→広島、沖縄→広島

②全市区町村での網の目平和行進の実施をめざします。

3、主催

提唱=原水爆禁止世界大会実行委員会

主催=2006年原水爆禁止国民平和大行進中央実行委員会

4、名称

2006年原水爆禁止国民平和大行進

5、メインスローガン

◇核兵器のない平和で公正な世界をめざしてともに歩こう！

◇憲法改悪に反対し日本とアジアの平和を守ろう！

◇広島・長崎の被爆者と世界の核被害者に連帯しよう！

◇原水爆禁止2006年世界大会を成功させよう！

※各都道府県の実情をふまえてサブスローガンを決めましょう。

6、具体的とりくみ

①新国際署名「すみやかな核兵器の廃絶のために」を共同のとりくみとして大きくひろげ、国民の圧倒的な核兵器廃絶のねがいを平和行進と世界大会に結集します。

- ②市民平和行進とのこれまでの共同・連帯の成果と経験を生かし、都道府県・市区町村で新たな共同・連帯をひろげます。宗教者の平和行進との共同をいっそう発展させます。
- ③全自治体をつなぐ行進をめざします。全自治体を訪問し、核兵器廃絶国際協定の締結にむけた協議の開始を求める日本政府への意見書採択、首長・議長をはじめ自治体役員の「すみやかな核兵器の廃絶のために」署名への賛同を要請します。また非核宣言の採択、非核平和行政の拡充、原爆展の開催などの要請にもとりくみます。
- ④若い世代の参加を促進するため、「核兵器なくそう・世界青年のつどい」や世界大会にむけての青年実行委員会（準備会）、民青同盟など青年諸団体に参加をよびかけ、青年の創意を生かした平和行進づくりなどとりくみを工夫・推進しましょう。中央実行委員会のホームページを充実させます。
- ⑤出発・集結集会での被爆者の訴えなど、被爆者と連帯した行進にします。原爆症認定集団訴訟の支援活動とむすんで、沿道での被爆者援護募金にとりくみましょう。
- ⑥平和行進資材、世界大会の学習パンフレット、バッジ、被爆組写真などを普及します。行進の初心者向けリーフの製作を検討します。
- ⑦原水爆禁止2006年世界大会や「第2回核兵器をなくそう・世界青年のつどい」に参加する内外の代表にもよびかけ、世界に連帯を広げた終結行進（8月4日・広島）をおこないます。

7、通し行進者の募集

通し行進者の募集は別途要項で定めます。 県内の通し行進者、とくに青年を積極的に配置し、行進を盛り上げましょう。

8、財政

- ①実行委員会（中央）財政は、中央団体の参加分担金、協力金、都道府県実行委員会の協力金および事業活動などでまかさないです。
- ②都道府県実行委員会、市区町村実行委員会の財政は、参加団体の分担金、協力金、自治体募金、沿道募金、事業活動などでまかさないです。

9、行進実行委員会の機構

実行委員会の機構として、①総会、②代表委員、③事務局団体、④会計監査団体を設けます。全国的な経験交流を目的として、都道府県代表者会議を総会と結んで開催します。

以上

2006年 国民平和行進

日程・コース(確定)

